

オンライン実践研修会

「更年期女性をどう支えるか」

現場で求められる視点とスキルを体験的に学んでみませんか。

本研修会では、更年期女性の具体的な事例を通じて、アセスメントの視点やカウンセリングの実践方法、治療選択に関わる支援の在り方を学びます。また、更年期症状緩和のための認知行動療法（CBT）の考え方やワークも取り入れ実践力を養います。

3回セットでご受講いただくことで、更年期女性への支援を「気づき」から「対話・理解」「行動のサポート」まで一貫して学ぶことができます（各回ごとの申込も可能です）。

医療者だけでなく更年期支援に関心のあるすべての方を対象にした、参加型・実践重視のオンライン研修となります。

※メノポーズカウンセラーの認定試験を受けられる方は必修講座になります。基礎講座とセットになった「メノポーズカウンセラー受験者必修講座」をお申込みください。

【第1回目】 6月22日（日）13：00～17：00

更年期障害女性の事例検討とロールプレイング①

ーアセスメントとカウンセリングの実践スキルを磨くー

目的：事例を通じて更年期女性への理解を深め、実際の対話を体験しながらアセスメントのポイントや効果的なカウンセリングの進め方を学ぶ機会を提供する。

【講師】 千場直美（神戸大学大学院保健学研究科看護学領域母性看護学分野 准教授）

江藤亜矢子（Meno Smile/小山嵩夫クリニック）

【第2回目】 7月20日(日) 13:00~17:00

更年期障害女性の事例検討とロールプレイング②

—治療選択を支える：ディシジョンコーチングを活用した意思決定支援を体験する—

目的：女性のニーズや価値観を把握し、適切な治療選択肢を提示した上で納得のいく意思決定ができるよう支援するコミュニケーションのプロセスを体験する。

【講師】 江藤亜矢子（Meno Smile/小山嵩夫クリニック）

千場直美（神戸大学大学院保健学研究科看護学領域母性看護学分野 准教授）

【第3回目】 8月31日(日) 13:00~17:00

更年期症状緩和のための認知行動療法

目的：更年期症状の緩和にむけた認知行動的アプローチの強みに焦点をあてる。

（詳細は決定次第、お知らせいたします）

【講師】 高橋真理（文京学院大学看護学研究科特任教授）

日置智華子（国立看護大学校看護学部成育看護学准教授）

兼宗美幸（埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科教授）

永谷実穂（静岡県立大学看護学部看護学科准教授）

高島えり子（順天堂大学医療看護学部講師）

【受講料】

各回 会員：7,500円 非会員：8,000円

3回セット 会員：20,000円 非会員：21,000円